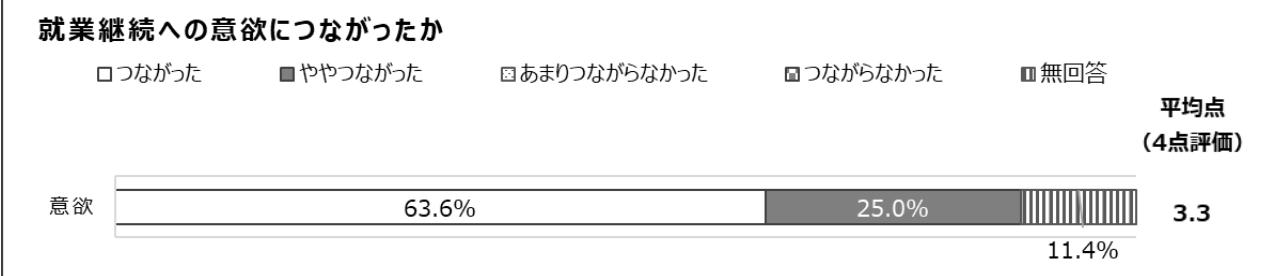
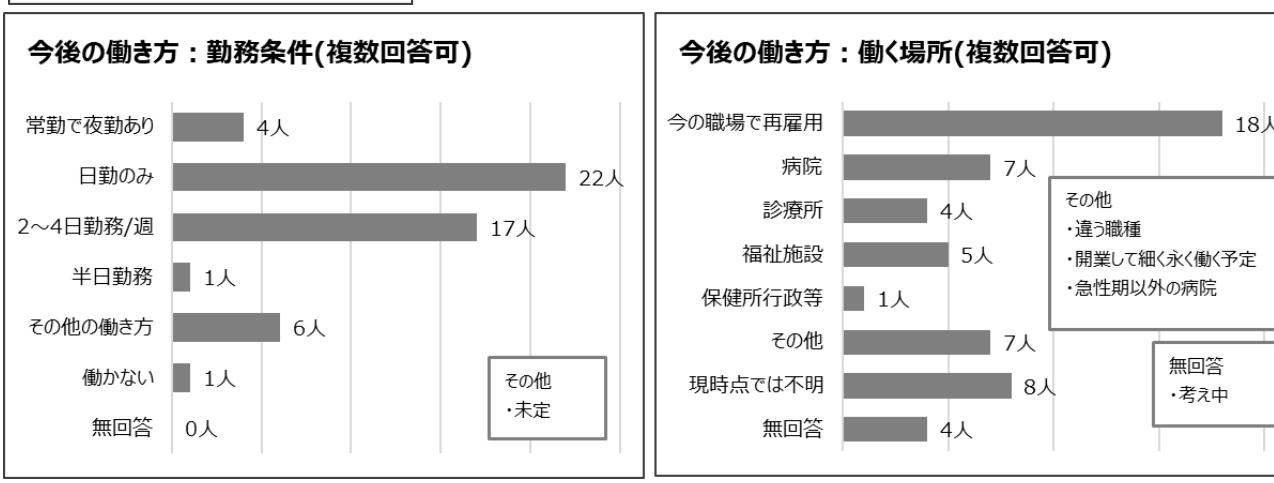
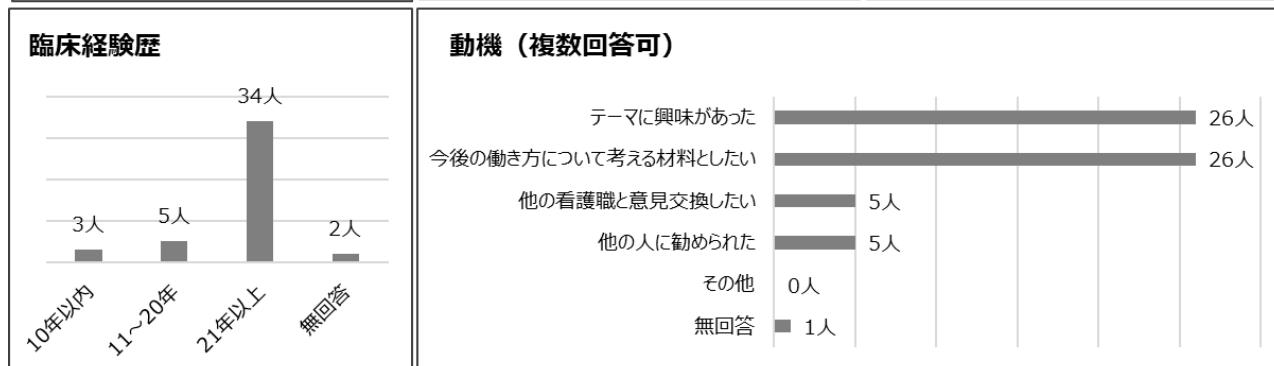
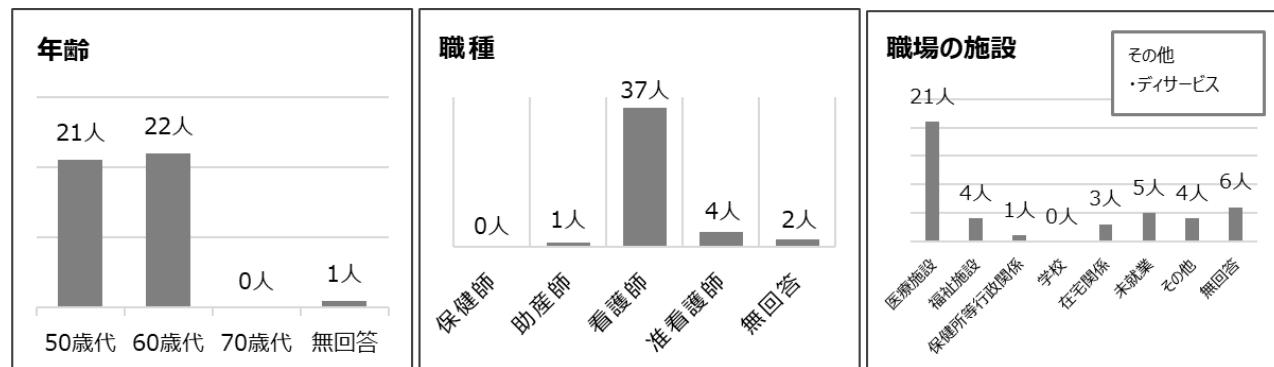


プラチナース研修

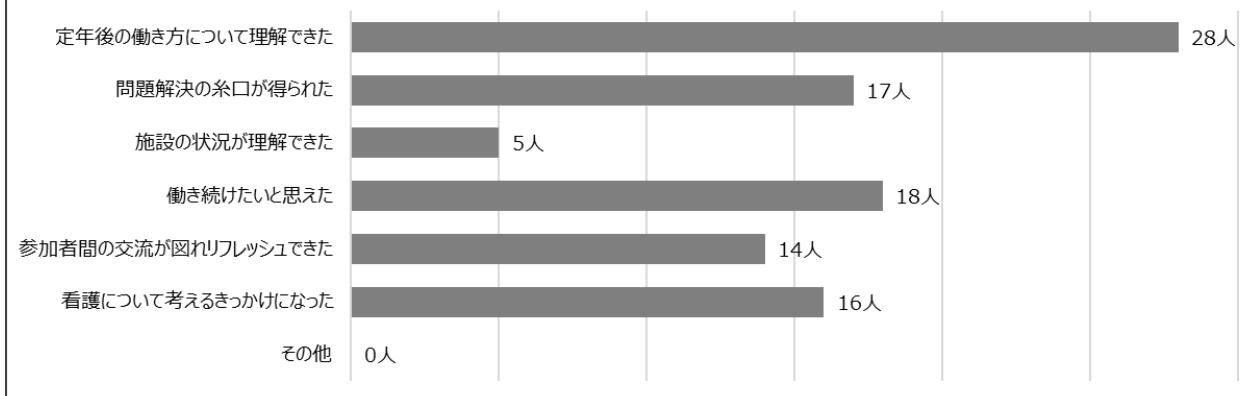
目的：定年退職後や定年退職を控えた看護職が、今まで積み重ねてきたキャリアを活かしながら、何らかの形で看護の仕事が継続できるよう支援する。

() うち、しま WEB

開催日	研修内容	受講者数	会場
7/12 (金)	年金と生活設計について	13名	ながさき看護センター
10/18 (金)	年金と生活設計について	18名 (1名)	看護キャリア支援センター
1/17 (金)	定年後働いている方々との交流会	15名	ながさき看護センター



研修全体を通しての学び(複数回答可)



	会場	しまWEB	計
受講者数	45人	1人	46人
回答者数	43人	1人	44人
回答率	95.6%	100.0%	95.7%

※割合の合計は四捨五入の関係で100%とならない場合もあります。

受講者

	病院	クリニック	福祉施設	その他	未就業	計
県央	1			3	6	10
県南	7	1	4		5	17
県北	12	1			4	17
離島			1			1
不明					1	1
計	20	2	5	3	16	46

<評価>

今年度は、申込み表に電話番号を記載してもらい、事前に確認をとったことで、欠席者は少なかった。3回目の交流会では諫早ナースセンター相談員からの声かけもあり、参加者の増加につながった。研修後アンケートでは、定年後の働き方について理解できたという意見が多く、次に、働き続けたいという意見が多かった。また、「年金と生活設計」については初めて佐世保会場でも開催したが受講者も多く、とてもよかったです等の意見が聞かれ好評だった。交流会については、実際働いているプラチナナースの話をきけてとてもよかったです、今の悩みが解決したなど多くの好意見が聞かれた。

今年度、離島への配信を行った。事前に広報したが、参加者は1名であった。グループワークではビデオONにしてもらい、活発な意見交換ができ、有意義な研修になったという感想があった。

<課題と今後の取り組み>

継続雇用が増えている現状をふまえた研修内容の検討が必要である。また、交流会の参加者に差があるため、年金と生活設計の講義と交流会を同日に行うことも検討したい。